



畜産研通信

平成25年度第1号

岐阜県畜産研究所の情報発信誌

～今回は種畜の最新情報を畜産関係者へ連絡します～

【養豚研究部】

「種畜検査で「特級」3頭、「1級」3頭が誕生！」

養豚研究部では、去る5月14日に今年度の種畜検査が実施されました。昨年度から開始した現場直接検定の結果に基づき、特級3頭、1級3頭が新規に認定されるとともに、申請した32頭の種畜全てが合格しました。岐阜県内の養豚農家の皆様方には、生産効率や肉質の向上に当研究所の種豚及び人工授精用精液を活用していただきますようお願い申し上げます。



<平成25年度 新規合格の種畜一覧>

等級	個体番号	生年月日	現場直接検定成績		
			1日増体量	背脂肪厚	ロース芯面積
			g/日	cm	cm ²
特級	ナガラ D939 4 1104	H24.6.22	855.9	1.5	43.5
特級	ナガラ D830 5 1401	H24.7.11	1133.5	2.0	42.2
特級	ナガラ D711 6 1901	H24.8.11	1148.3	1.5	37.3
1級	ナガラ D980 3 1503	H24.7.19	918.9	1.6	34.3
1級	ナガラ D969 2 1603	H24.7.21	962.5	1.4	38.9
1級	ポーノブラウン 926 4 2103	H24.8.18	884.6	2.0	41.2

※種畜検査基準：1日平均増体量 1000g/日以上（3点）、背脂肪厚 1.7cm 以下（2点）、ロース芯面積 41 cm² 以上（1点）。合計3点以上で体型基準を満たすものが特級に認定。

<平成25年度 種豚及び人工授精用精液譲渡価格（税込み）>

種豚	105kg 雄1頭：61,000円 105kg 雌1頭：53,000円
人工授精用精液	1ドース：1,100円（送料別）

人工授精用精液は、毎週月曜日と金曜日に採取・発送します。（年末年始・祝祭日も対応します。）

【養鶏研究部】

「卵用奥美濃古地鶏の譲渡について」

天然記念物の岐阜地鶏を素材に開発した卵用奥美濃古地鶏は、淡い茶色の小振りの卵を産みます。その卵は卵重に対する卵黄の比率が高く、通常在市販卵の1.3倍あり、アミノ酸組成でもグルタミン酸が市販卵より高い傾向があります。養鶏研究部では6月26日、卵用奥美濃古地鶏を県内16名の方に譲渡しました。併せて開催した飼養衛生管理研修会には、飼養者夫婦やその友人など24名が参加され、当所職員の説明する卵用奥美濃古地鶏の特徴や飼育管理方法を熱心に聴講されていました。



【酪農研究部】

「牛群審査を受審しました」

5月22日に本年度1回目の牛群審査を受審しました。酪農研究部では、産乳能力を評価する牛群検定を毎月1回、さらに種牛性や堅牢性の指標となる体型を評価する牛群審査を年2回実施することにより、所内牛群の能力の把握に努め、牛群の改良を進めています。

牛群審査は日本ホルスタイン登録協会の審査員により乳用牛の体型審査が行われ、骨格や、乳房の形状、肢蹄の強さなど、体各部位の機能性について評価を受けました。今回、初産牛11頭、経産牛8頭が審査を受け、平均得点はそれぞれ78.8点、81.9点でそれぞれの乳牛の改良点が明確になりました。

牛群検定や牛群審査を実施することにより繋養牛の能力を的確に把握でき、収益アップを図ることができます。岐阜県では検定実施を推進していますので取り組まれたらいかがでしょうか。



マウンヒルニムロッドゴールドウインマリ ET (初産 81点)

【飛騨牛研究部】

「現場後代検定情報について」

昨年度は関係者各位のご協力により「勝一郎（父：景平勝）」、「飛騨之匠（父：糸福171の8）」、「若光清85（父：白清85の3）」の3頭の現場後代検定を終了することができました。この中で「若光清85」は、産子3頭が第10回全国和牛能力共進会第8区（若雄後代検定牛群）に出品され、3頭ともA5等級という好成績で、優等賞3席に入賞しました。また全共後に行われた飛騨牛カーニバルでも、4・5等

級率が91%と安定した成績でした。サシの形状も細かいという特徴があり、基幹種雄牛に繰り入れられることが決定しました。有効に利用していただけますようお願いいたします。

今年度現場後代検定が終了する種雄牛は、「永光清（父：白清85の3）」、「花安鶴（父：第1花国）」、「立花国（父：第1花国）」の3頭です。それぞれ枝肉研究会を開催しますので、是非ご参加ください。



若光清85(父：白清85の3、産地：中津川市)

平成28年度の現場後代検定種雄牛として、いずれも白清85の3の息牛である「孝隆平」、「慶清福」、「景鶴7」の3頭が選抜されました。先行交配を9月から順次開始する予定ですのでご協力をよろしく申し上げます。

なお、詳しい血統情報や現場後代検定調査牛の枝肉研究会の資料については畜産研究所のホームページをご覧ください。

畜産研究所ホームページ <http://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp>

- 飛騨牛研究部** 506-0101 高山市清見町牧ヶ洞 4393-1
Tel 0577-68-2226 Fax 0577-68-2227 Email boxbeef@livestock.rd.pref.gifu.jp
- 酪農研究部** 509-7601 恵那市山岡町久保原
Tel 0573-56-2769 Fax 0573-56-2974 Email boxdairy@livestock.rd.pref.gifu.jp
- 養豚研究部** 505-0037 美濃加茂市前平町 3-8
Tel 0574-25-2185 Fax 0574-28-4132 Email boxswine@livestock.rd.pref.gifu.jp
- 養鶏研究部** 501-3924 関市迫間 2672-1
Tel 0575-22-3165 Fax 0575-22-3164 Email boxpoultry@livestock.rd.pref.gifu.jp